2022.4発行

エムオーケー
MOKマガジン
（別冊）

リニューアル

「後援会」特集号

後援会運営の安定を図るため、リニューアルを行いました！

目次ーーーーーーーー

１．後援会のあゆみ
２．数字でみる後援会
３．これからの後援会
　　「明桜会サポーター」とは
４．明桜会、これからの取組み

「大地の家」開所!!

平成11年

「起工式」を経て着工。
県へ法人認可申請書を届け出。
施設長の決定。
県より施設整備に伴う国庫補助の内示を得る。

平成10年

明石市議会において、入所施設への補助金が承認される。
法人名を「明桜会」、施設名は「大地の家」に決定。

平成9年

やまゆりの家1階に入所施設事務局を設置。
法人の理事十人を選出。明石市へ建設用地の無償貸与について依頼書を提出し確約を得る。

全国いろんな施設へ見学に行き、いいとろこをたくさん取り入れていきました。“廊下の幅は広く取り、車いすが十分にすれ違えるように“ “居室は絶対に畳がいい！“ “廊下に大きな収納庫あったらいいね“などなど…。「大地の家」には、そんな親御さんの思いがたくさん反映されています。

後援会の発足

1999年5月、多くの皆さまの温かいご支援とご協力、そして精力的に活動を続けてこられた育成会の方々のご尽力により「大地の家」が開設されました。
「大地の家」は、利用者の個性と主体性を尊重した生活づくりを目指し、その実現に向けて最善の環境整備と援助活動を行うため日々努力を続けていくこと。また地域の人々との交流を通じて、ともに生きる社会づくりを目指して誕生しました。
この「大地の家」の母体である「明桜会」は、市内の知的障害者の幸せを願い様々な活動を展開する任務が課せられています。
それらの活動を応援していくため後援会が発足されました。

後援会のあゆみ －STORY－

「大地の家」開所まで

明桜会の成り立ち

昭和43年
藤江母子寮に「木の根学園」が誕生。

昭和44年
記念事業としてバザーを開催。

昭和50年
木の根学園で2人の利用者が親の高齢化により生活の場を失う。家庭寮を開設。このことが大きなきっかけとなり親なき後の施設の必要性を認め、資金調達のためにバザーを継続。

平成5年
入所施設設立に向け、各ブロックより選出された代表により「準備委員会」が発足。
明石地区手をつなぐ育成会（以下、育成会）に、入所施設設立要望書を木の根学園の保護者会より提出。
育成会総会において、資金調達方法、入所施設設立準備委員会の承認を得る。

平成6年
木の根学園保護者会が、バザーにより積み立ててきた二千万円を、運動資金として育成会へ寄付。
市内小中会員、一般会員へ施設の概要、資金等についての説明会を度々行う。

平成7年
入所希望者を知るためのアンケート調査を行う。
山中様より三千万円の寄付をいただく。
社会福祉法人施設開設研修会に出席（東京）

平成8年
各地の施設見学を行い、研修を重ねる。
「銀座のみの市」や各フリーマーケットに出店し、資金調達運動を行う。
資金が一億円を超える。

育成会バザーでの収益100万円の寄付を3年間つづけました。

親なき後も、安心安全に暮らせる場所を明石に！

当時は、明石市内に入所施設がありませんでした。親の高齢化・親なき後、ご自宅での生活ができなくなると縁もゆかりもない、市外の施設へ入所せざるを得ない時代。「住み慣れた場所で、慣れ親しんだ人の近くで、安心して暮らせる施設を明石に」という障害をお持ちの子を持つ親のみなさんの想いから、入所施設設立に向けた活動がスタートしました。

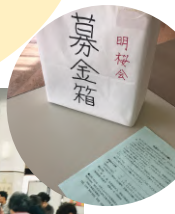
『明桜会』の名前の由来－－－

「明」は、明石の「明」。そして「大地の家」ができる前、そこには多くの方から親しまれたたくさんの桜の木がありました。大地の家建設時に切り倒さなければいけなくなった桜への思いから「桜」。明石の桜の会で「明桜会」と名付けられました。

『大地の家』の名前の由来－－－

障害のある方々が、生まれ育った明石の地に、しっかりと足を踏ん張り心を豊かに暮らしてほしい…という願いが込められ「大地の家」と名付けられました。

昭和44年 木の根学園の保護者会によるバザーからはじまり、平成5年に「育成会」内に入所施設設立準備委員会を結成したところから更に運動も加速。募金活動も広げていきました。



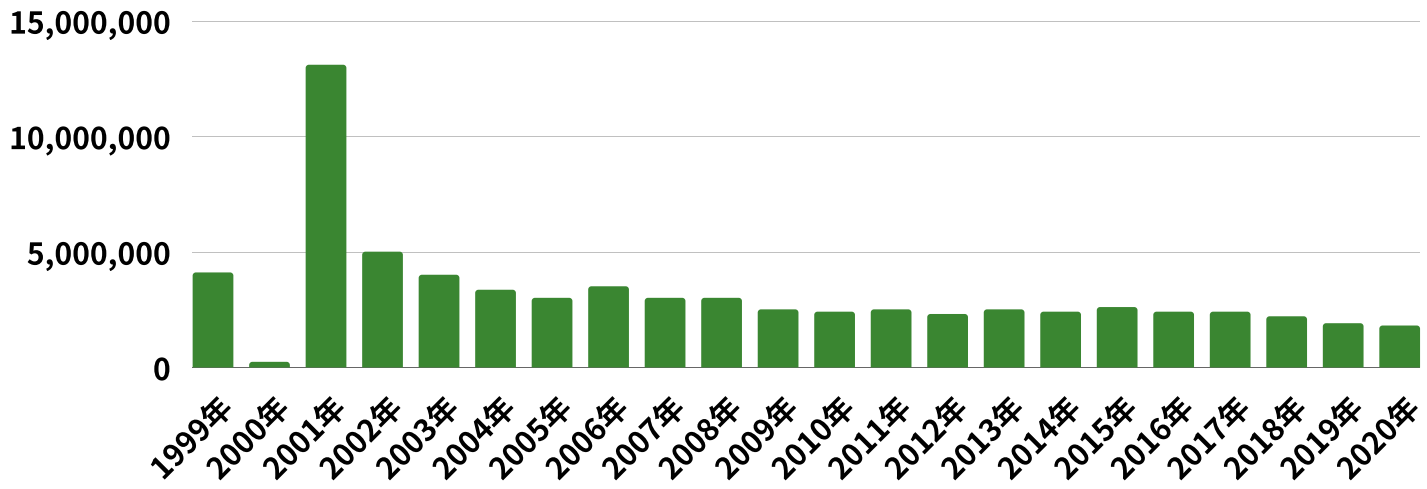
数字で見る後援会活動

「大地の家」ができてからも、継続した活動でたくさんのご支援をいただいています。

後援会の皆さまの存在は
明桜会の事業発展の原動力！

後援会より明桜会本会計へ

【総計】70,175,800円（2020年）



いただいたご支援の活用事例

車の寄贈

洗濯機・乾燥機の購入

障害福祉の啓発イベント開催

ソファ・椅子等の備品購入

後援会役員さんの声

志賀 和子さん

バザーの準備とかも今考えると大変だったけど、当時はそんなことも思わなかったですね。みんなで同じ目標に向かって活動するというのも楽しかったです。
いまは「いぶき祭」やバザーもなくなってしまって大きな寄付金集めの活動ができていない状態ですが、継続してご支援くださる会員のみなさんの存在は、とてもありがたく心強いです。

いぶき祭の様子

林 容子さん

今年度には、新しいグループホームが３つもオープンします。これから、強度行動障害の方や、いろんな形で地域生活ができるような場所がたくさんできてくるんだろうなと思うと嬉しいですね。これからも、明桜会の事業の活動資金として後援会費を有意義に活用していただけたらと思います。

志賀 和子さん

「あいすくりーむの家」が開設される何年か前に「大地の家保護者会」主催の施設見学に同行し、岡山県内のグループホームを見せていただいたんです。そこに隣接して建つ高齢者用の生活の場の存在を知り、驚きました。帰りのバスの中で、原田前会長の「明石市にもほしいなぁ。またみんなでがんばろうな」という言葉に盛り上がったことを今もはっきり覚えています。そこから一層バザー活動にも気合いが入り、「あいすくりーむの家」ができる時には育成会から3500万円の寄付を行うことができました。

2011年（平成19年度）新規事業
「サポートセンター翔」建設

2018年（平成30年度）新規事業
「あいすくりーむの家」建設

各グループホームの開所並びに、2022年（令和4年度）新規グループホーム開設

大久保・大地の家

開かれた施設へ
祭りで850人交流

舞台やゲーム 屋台に行列も

障害者と地域住民の交流を図り、開かれた施設」で開かれた。ステージシ

地域の人らでにぎわった「いぶき祭」＝大地の家

『神戸新聞』に掲載されました。

地域交流イベント「いぶき祭」開催

「明桜会サポーター」とは

会費で、明桜会の活動を応援し障害のある方の継続的なサポートをする仕組みです。

後援会運営の安定を図るため、リニューアルを行いました！

この度、明桜会後援会の会員様の名称を「明桜会サポーター」と改めリニューアルを行いました。会費のオンラインシステムを構築することで、より多様な形で寄付をいただくことが可能になりました。

----- 後援会リニューアルの背景 ------

明桜会ができて23年。これまでもたくさんの事業展開が行われてきましたが、明桜会は今後も障害のある方の望む暮らし実現のため様々な取組みを行っていきます。
新しい事業を始める・事業を継続していくには大きな資金が必要になります。社会福祉法人の財源は、事業収入・補助金・寄付金の３つしかありません。この"寄付金"は主に後援会からのご支援を指し、これまでも明桜会の事業発展の大きな支えとなっています。公的財源だけでは、私たちの目指すものを実現するためには十分ではないのです。
明桜会はこれから、強度行動障害のある方が地域生活を送ることができるグループホームをつくろうと動きをすすめています。この事業には、数億円単位もの資金が必要になります。これを実現可能にするためには、後援会活動を活性化し計画的に資金調達を行っていくことが必要不可欠です。
明桜会の事業発展には、みなさまのご支援が大きな支えとなります。どうか引き続き「明桜会サポーター」としてお力添えをくださいますよう、よろしくお願いいたします。

明桜会サポーター
会長　高橋 嗣郎

ごあいさつ

日ごろからお力添えをいただいております個人・団体の会員さまには、心より感謝を申しあげます。ありがとうございます。
「明桜会」は、ご利用者の安心・安全のくらしの場の確保・充実を進めながら、豊かな経験等を生かし、地域社会がより多くの幸せを享受できるような事業展開に努めていただいています。
「明桜会サポーター」として、「明桜会」とともに歩み、連携を強め、生活施設づくりや職場環境などをよりよくしてまいりたいと考えています。
どうか「明桜会サポーター」にご関心を持っていただき、たくさんの方にサポーターになっていただけますよう、ご理解・ご支援をお願い申しあげます。

ともに歩む、明日をつくる

「明桜会サポーター」になるには

オンライン　クレジット決済

下記のQRコードからお手続きいただけます。

【年会員】

年会費を寄付していただけます。
団体及び法人　10,000円～
個人　3,000円～

【マンスリーサポーター】

月会費を寄付していただけます。500円～ご自身で寄付額を決定いただけます。

【 単発寄付】

単発での寄付をしていただけます。ご自身で寄付額を決定いただけます。

その他のご支援方法

明桜会の事業所へ直接お届けいただくか、口座振替も可能です。

【年会員】　団体及び法人　10,000円～
個人　3,000円～

口座振替の場合には、下記口座までお振込みいただきますようお願い申し上げます。
・個人名義：社会福祉法人明桜会後援会（しゃかいふくしほうじんめいおうかいこうえんかい）
・郵便振替：００９１０－０－１５２６２４

＼SDGsへの貢献になります／

◎ 「明桜会サポーター」の特典

明桜会の活動・取り組み、
イベント情報などをお届けします！

▶ 個人の方

1．社内報「MOKマガジン」のお渡し（年４回）
2．年次報告書のお渡し（年１回）
3．メルマガ配信

▶ 団体及び法人の方

1．社内報「MOKマガジン」のお渡し（年４回）
2．年次報告書のお渡し（年１回）
3．メルマガ配信
4．明桜会のホームページにて、団体様の名称を掲載

ごあいさつ

明桜会
理事長　日下 孝明

後援会の皆様には、常日頃から明桜会の活動に対して物心両面からご支援いただいていることに心からの感謝を申し上げます。利用者の皆様、家族の皆様、地域の皆様のニーズを探りながら「実現したい暮らしとは？」「ともに生きる」「地域で過ごす」を考え、具現化するために何が必要かを事業の中に取り入れこれからも職員一丸となって取り組んで参ります。

明桜会のこれから

これからの具体的な事業展開

ご利用者の様々なニーズに応じた暮らしをコミュニティのなかで実現できるように「地域生活」の基盤強化を行っていきます。

1 地域密着型の事業所運営の実践

・各事業所が地域の一員としてそれぞれの地域コミュニティの活動や取り組みに積極的に参画し、公益的な取組を実践していきます。
・地域の中で多様なつながりをつくり、ご利用者一人ひとりに合ったサービス体制の構築・ボランティア団体や社会資源をつないでいきます。

2 さまざまなニーズに対応できるグループホームの拡充

・法人内グループホーム数７カ所　→１１カ所　定員３９名　→　６４名
・重度・強度行動障害をお持ちの利用者の暮らしを支えるグループホームを設置。

3 地域生活の支援体制の構築

・グループホーム・地域生活利用者の支援を手厚くするため居宅介護事業の検討。
・支援度の高い利用者対象に通所事業・ショートステイ利用時の送迎サービスを構築。
・地域での暮らしの困りごとを相談できる窓口の設置、サポートできる体制整備。

4 大地の家（ご利用者）居室の個室化

・施設内の個室化を行います。
・ショートステイ利用部屋の環境改善を行います。

地域への公益的な取り組み

地域の福祉力の底上げと啓発

社会福祉法人のノウハウを生かし、法人の職員に加え地域の福祉サービスの事業者、ご家族、福祉関係団体等を参加対象とした研修会や講演会等を実施します。

社会福祉の向上

イベントの開催や、環境美化活動、防災防犯活動など、地域住民の参画や共働の場を創出します。

福祉サービスの充実を図るための環境整備

関係機関とのネットワーク構築に向けた取組みなどを行っていきます。

発行：社会福祉法人明桜会
法人本部　〒674-0051　明石市大久保町大窪2752-1「大地の家」内
TEL（078）934-1212　FAX（078）934-8952